西東京市市民協働推進センター

平成 25 年度第 12 回運営委員会会議録（確定稿）

■開催日時：平成 26 年 3 月 18 日(火)午後 7 時～9 時 10 分
■開催場所：イングビル 3 階第 1、2 会議室
■出席委員：有馬委員、岸委員、久保委員、熊田委員、小嶋委員、坂口委員、田中(友)委員、田中(紀)委員、田辺委員、富沢委員、豊永委員、中村委員、藤江委員＜以上 13 名、五十音順＞
■事務局　：内田センター長、中村、丸木地域福祉課長、塚澤主事

1．報　告　事　項

1．業務報告について

事務局より、2 月期の主催事業、ホームページアクセス数、新規登録団体、市民活動相談対応状況、3 月期の主催事業について説明があった。

委　員：ゆめサロンの発表を聞いて、西東京市から誇れる活動をしていると感じた。市民にも行政にもこの話を聞いていただきたい。

委　員：企業の本気度を感じた。口で言うだけでなく行動で示し、それを社員のモチベーションに繋げている。すばらしい取り組みと思った。

委　員：環境について学んだ。社会の成長があってこそ企業の成長がある。電気をいい加減に使っている現状を見直すべきだと思った。

委員長：まちづくり円卓会議について出席した委員から感想を聞きたい。

委　員：次年度からはファシリテーター（進行役）も含めてゆめこらぼで実施して欲しい。

委員長：会議だけでなく、実際のアクションにつなげていくことが大事である。

委員長：3 月の実施事例について委員の意見を求める。

委　員：避難所運営ゲームを多くの団体と協力して行っているが、目標はどのように考えているのか。

事務局：防災の専門家ではないので、あくまで NPO・市民活動団体と地域、地縁組織をつなげるツールの一つとしてやっている。公民館の講座の一部として行ったり、NPO・市民活動団体と一緒になってワークショップを行い、市民や地域とのつながりを作るきっかけにしている。今年度は受動的に 11 ヶ所で実施したが、もう少し能動的に行えるようにもしたい。避難所運営ゲームを地域と連携する入り口にして、その先の展開を考えたい。

委員長：社会福祉協議会でも災害ボランティアの動きがあるのではないか。

事務局：来年度から社会福祉協議会としては災害ボランティアの育成・発掘に力を入れて取組んでいく予定である。最終的には、ふれあいのまちづくりが地域の中で災害があった時、お互いに助け合える関係性や仕組みをつくりたいと考えている。

委員長：ボランティア・市民活動センターでは防災や減災の取組みをしている。来年度から社会福祉協議会本体が災害時のボランティアに取り組むということだと思う。

委　員：学校ごとの避難所運営協議会を作るよう行政から指示されているが、地域や学校により温度差がある。学校単位の運営協議会の方や教員が見学に来るようになり、自分たちでハンドブックを作成するなど動きが出てきた。

2．審　議　事　項

1．前回の会議録について

委員長：特にご意見がないようなので、確定稿とする。

３．協　議　事　項

１．今年度の運営事業報告について

委　員：第６回の運営委員会は「特に協議事項なし」とあるが、修正した方が良いのではないか。

委　員：第６回は地域課題検討を委員会議事と別に行った記憶がある。このことを記載しておいた方が良いと思う。

委員長：重点事業は、事業名の見出しにその旨を記載すること。また、写真を入れて欲しい。

事務局：写真については、ページ数があまり増えない範囲で対応する。

委員長：研修や外部のイベントに参加した時など、運営委員会でも報告して欲しい。

委　員：センター利用、相談状況は、相談・サービス提供事業の中で記載した方が良い。

事務局：修正する。

委　員：センター利用、相談状況とあるが相談の件数が載っていない。

事務局：確認する。

２．内部評価について

委　員：目的に対する成果と課題になっていない。達成項目等を明記すべき。個々の事業で、文頭にポイントとなるものをまとめた方が理解されやすい。

委　員：今年は、外部評価はないのか。

事務局：来年度に委託期間である３年度分をまとめて外部評価する。内部評価シートは外部評価のためのあくまで準備である。

委　員：避難所運営ゲームの「協力」の記載が間違っているので修正すること。

委　員：五段階評価などはつけないのか。文章だけではなく数字などでわかりやすくしたらどうか。

３．来年度の執行計画について

委　員：範囲が広いので重点事業が判るように区別して欲しい。今年度のまちづくり円卓会議のフォローアップは別事業にしたほうが解りやすい。

事務局：フォローアップについては、来年度どういう動きが出てくるか見えてから、まちづくり円卓会議と別事業にするか検討したい。

委員長：重点事業は変わらないのか。

事務局：協働推進事業と、地域連携促進事業を２本柱に、「まちづくり円卓会議」「行政職員と市民活動団体との懇談会」と「NPO 市民活動ネットワーク」を重点事業としたい。

委　員：行政職員と市民活動団体との懇談会は説明的、表面的にならざるを得ない。団体側は深い議論を期待しているので、中身のある議論ができるようにして欲しい。

委員長：言いたい事が言える場と、もう少し密に議論ができ、やりとりを深くできる場との二段構えのようにすることも考えられる。事前に会の特徴の説明はした方が良い。

事務局：市民団体と行政とで参加するスタンスが異なっている。ワールドカフェの手法は好評なので、次年度に関しては継続し相互が知り合える機会にしたい。

委員長：地域連携促進事業で、地域協議体のモデル事業への参画までは行けなくても、関心があるという書き方はした方が良い。ソーシャルネットワークサービスの利用についても検討するとの追記をすること。

委　員：内部評価シートと事業報告書で来訪者数が違っている。サロンの利用件数が減っているのが課題とあるが、来年度新たな取り組みがあれば是非記載して欲しい。

委　員：登録団体121団体をNPO法人と任意団体に分けて整理してほしい。そして、市内で登録してないNPO法人と任意団体が何団体あるか調べ、どの程度登録団体に取り込みたいか具体的意思表示が欲しい。

委員長：事業報告にも121団体の分類を記載した方が良い。

４．来年度の運営委員会委員について

委員長：事務局から声掛けをしていただいている。

4. そ　の　他

○田辺副委員長、有馬委員が退任の挨拶

１．次回運営委員会日程について

日時：平成26年4月15日（火）19時～21時

会場：イングビル3階　第1、2会議室